



1 参道



2 大鳥居 (日本最大木造鳥居)



4 随神門 (市指定文化財)



5 神楽殿 (市指定文化財)



6 手水舎 (市指定文化財)



7 太郎杉 (県指定天然記念物)



8 夫婦松 (市指定天然記念物)



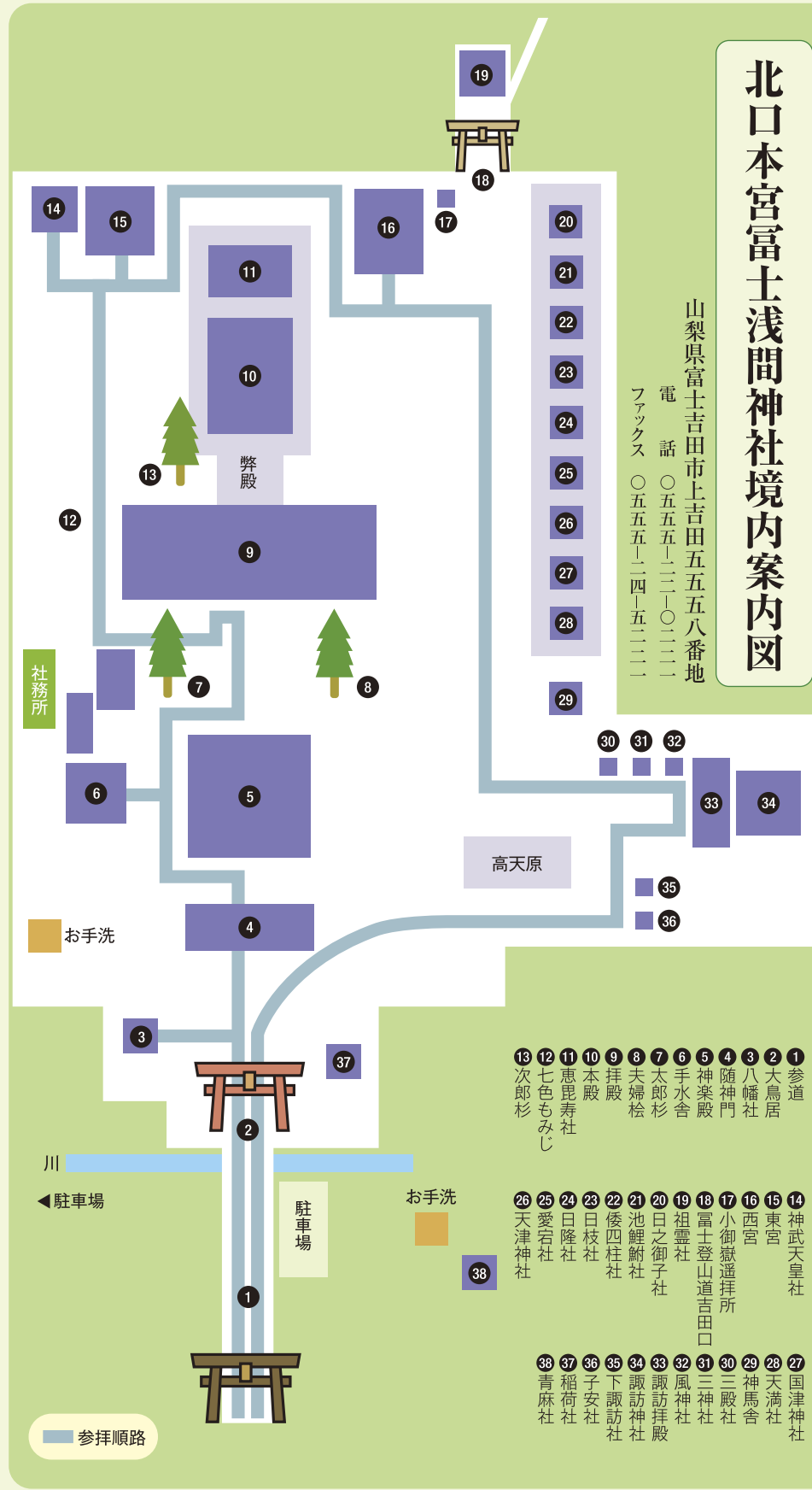
18 富士登山道吉田口



20~29



33 諏訪拜殿 (市指定文化財)



9 拜殿 (県指定文化財)

◆御祭神
木花開耶姫命
(このはなをくやひめのみこと)
天孫彦火瓊々杵尊
(てんすひこほのにぎひこ)
大山祇神 おおやますみのかみ

◆由緒
人皇十二代景行天皇四〇年(二一〇)日本武尊(やまとたけるのみこと)御東征の御箱根足柄より甲斐國酒折宮に向う途次、当地御通過、大塚丘にお立ちになられ、親しく富士山の神霊を御遙拝され、大鳥居を建てしめ、「富士の神山は北方より登拜せよ」と勅(みこと)りされ、祠を建てて祀つたのが始まりとされている。延暦七年(七八八)甲斐守紀豊庭(かいかみきのとよひら)占し現在の位置に神殿を建てて浅間の大神を奉り、大塚丘には日本武尊の神霊を祀つた。享保十八年(七三三)、江戸の富士講村上派を率いる村上光清が、幣殿、拜殿、神楽殿、手水舎、随神門を造営した。



10 本殿 (国指定重要文化財)



11 富士あびす (県指定文化財)



12 七色もみじ (名木百選選定)



15 東宮 (国指定重要文化財)



16 西宮 (国指定重要文化財)